



2019年3月期 第2四半期決算短信(日本基準)(連結)

2018年11月6日

上場会社名 タカノ株式会社

上場取引所 東

コード番号 7885 URL <http://www.takano-net.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 鷹野 準

問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役 (氏名) 大原 明夫

TEL 0265-85-3150

四半期報告書提出予定日 2018年11月9日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (証券アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2019年3月期第2四半期の連結業績(2018年4月1日～2018年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2019年3月期第2四半期	10,967	17.1	359	19.5	445	26.9	389	57.6
2018年3月期第2四半期	9,364	1.2	301	31.7	351	15.1	247	11.6

(注) 包括利益 2019年3月期第2四半期 445百万円 (23.5%) 2018年3月期第2四半期 360百万円 (33.7%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2019年3月期第2四半期	25.62	
2018年3月期第2四半期	16.26	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2019年3月期第2四半期	37,289	28,685	76.9	1,887.67
2018年3月期	38,036	28,453	74.8	1,872.38

(参考) 自己資本 2019年3月期第2四半期 28,685百万円 2018年3月期 28,453百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2018年3月期		0.00		14.00	14.00
2019年3月期		0.00			
2019年3月期(予想)				16.00	16.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2019年3月期の連結業績予想(2018年4月1日～2019年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	24,800	14.3	1,440	29.6	1,490	23.2	1,080	21.9	71.07

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
以外の会計方針の変更 : 無
会計上の見積りの変更 : 無
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2019年3月期2Q	15,721,000 株	2018年3月期	15,721,000 株
期末自己株式数	2019年3月期2Q	524,811 株	2018年3月期	524,811 株
期中平均株式数(四半期累計)	2019年3月期2Q	15,196,189 株	2018年3月期2Q	15,196,189 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績の見通しの前提となる条件および業績予想の利用にあたっての注意事項等については、添付資料4ページ「1.当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

(日付の表示方法の変更)

「2019年3月期第1四半期決算短信」より日付の表示方法を和暦表示から西暦表示に変更しております。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	4
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	8
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	10
(セグメント情報等)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間（2018年4月1日から2018年9月30日）におけるわが国経済は、企業収益や雇用および所得環境の改善等を背景に景気は緩やかな回復基調が続きました。しかしながら、米国の保護主義政策に端を発した中国との貿易摩擦が激しさを増しており、さらなる激化・長期化による世界経済への影響が懸念される等、景気の先行きは依然として不透明な状況が続いております。

このような環境のもとで、当社グループは中期経営計画「Innovation 68」の達成に向け、計画の3年目にあたる当期は、計画の基本方針である「構造改革とプロセス改革を進め、稼ぐ力を取り戻し、次の成長路線を構築する」の実現を図るべく、各施策の確実な実行による事業構造・収益構造の変革への取組みを行ってまいりました。

具体的には、2018年7月31日に株式会社トプコンおよびその子会社である株式会社トプコンテクノハウスより、半導体関連分野にかかる半導体ウェーハ表面検査装置（WM）事業およびプロキシミティ露光装置（TME）事業を譲り受けました。今後は、昨年11月に事業譲受を行った外観検査装置（Vi）事業を含む譲り受けた各事業と当社既存事業との融合を通じ、半導体関連検査装置分野のさらなる強化拡充を実現させ、中期経営計画の達成につなげてまいります。

この他に、製品開発・販売活動、各種の事業提携活動、グローバル販売・グローバル調達体制の拡充に注力する一方、製造ラインへのロボットやIoTを活用したシステムの導入や間接部門を中心とした合理化プロジェクトの推進等、生産性向上および合理化のための活動を推進してまいりました。

この結果、主に検査計測機器事業および機械・工具事業の販売増加により、当第2四半期連結累計期間の売上高は10,967百万円で、前年同四半期比1,602百万円（17.1%）の増収となりました。

利益面につきましては、材料価格高騰の影響はあったものの、販売の拡大による粗利益額の増加により、営業利益359百万円（前年同四半期比58百万円、19.5%の増益）、経常利益445百万円（前年同四半期比94百万円、26.9%の増益）となりました。親会社株主に帰属する四半期純利益は、特別利益に投資有価証券売却益86百万円を計上したこと等により、389百万円（前年同四半期比142百万円、57.6%の増益）となりました。

【セグメント別の概況】

セグメント別の業績は次のとおりであります。

（単位：百万円）

	売上高（外部顧客への売上高）			セグメント利益または損失（△）		
	前第2四半期 連結累計期間	当第2四半期 連結累計期間	増減率	前第2四半期 連結累計期間	当第2四半期 連結累計期間	増減率
住生活関連機器	3,826	4,145	8.3%	△45	△91	－%
検査計測機器	3,226	4,313	33.7%	126	291	129.8%
産業機器	1,181	1,197	1.3%	175	119	△32.3%
エクステリア	545	426	△21.7%	24	△16	－%
機械・工具	584	883	51.1%	34	41	21.9%
報告セグメント計	9,364	10,967	17.1%	315	343	8.9%
セグメント間取引消去	－	－	－%	△14	15	－%
合計	9,364	10,967	17.1%	301	359	19.5%

（住生活関連機器）

当セグメントは、当社、連結子会社上海鷹野商貿有限公司で構成され、主にオフィス用、福祉・医療施設用の椅子等の製造販売を行っております。

当セグメントにつきましては、生産性向上や省人化に向けた活動、IoTを活用した製造工程の見える化に向けた活動に取り組んだ他、要素技術の高度化に向けた新規製造設備の導入を行ってまいりました。また、医療関連分野向け新製品の開発と市場導入活動を行ってまいりました。

この結果、オフィスビルの竣工増加にともないオフィス家具需要が底堅く推移したこと等により、売上高は4,145百万円で前年同四半期比318百万円、8.3%の増収となりました。一方、利益面では積極的なコスト削減活動に努めたものの、前連結会計年度および当四半期中に行った設備投資にかかる減価償却費増加の影響等により、セグメント損失は91百万円（前年同四半期はセグメント損失45百万円）となりました。

（検査計測機器）

当セグメントは、当社、連結子会社タカノ機械株式会社および台湾鷹野股份有限公司で構成され、主に液晶等の検査計測装置等を製造販売しております。

当セグメントにつきましては、半導体関連検査装置分野の強化拡充に向けた活動に加え、中国・台湾市場向け液晶検査装置および自動車業界等の新用途市場向け検査装置の販売活動に注力してまいりました。また、製品の競争力向上を図るべく、高速・高精細な次世代光学センサーの開発と部材コストの低減を可能とする新検査手法の実機導入に取り組んでまいりました。

この結果、中国および台湾顧客向けの検査計測装置の販売増加等により、売上高は4,313百万円で前年同四半期比1,087百万円、33.7%の増収となりました。利益面では、販売の増加による粗利益額の増加に加え、設計の標準化等コストダウン活動を積極的に推し進めた結果、セグメント利益は291百万円で、前年同四半期比164百万円、129.8%の増益となりました。

（産業機器）

当セグメントは、当社、連結子会社香港鷹野国際有限公司で構成され、主に電磁アクチュエータ・ユニット（ばね）製品等を製造販売しております。

当セグメントにつきましては、国内および海外顧客に向けた積極的な営業提案活動、医療機器関係分野向け電磁アクチュエータの販売拡大に向けた活動および新たなコア加工技術開発等に取り組んでまいりました。

この結果、売上高は1,197百万円で前年同四半期比15百万円、1.3%の増収となりました。一方、利益面では前連結会計年度に行った設備投資にかかる減価償却費増加の影響等により、セグメント利益は119百万円で、前年同四半期比56百万円、32.3%の減益となりました。

（エクステリア）

当セグメントは、当社が主に跳ね上げ式門扉、カーポート、テラス、オーニング、ガーデンファニチャー等のエクステリア製品を製造販売しております。

当セグメントにつきましては、オーニング等の業務用途の物件受注に向け、また今後のオリンピック関連需要を見据え、新製品を中心とした広告宣伝活動や販売活動に注力するとともに、営業体制の拡充に取り組んでまいりました。

しかしながら、大口の物件需要が少なかったこと等により、売上高は426百万円で前年同四半期比118百万円、21.7%の減収となりました。利益面では積極的な経費削減活動等に努めたものの、セグメント損失は16百万円（前年同四半期はセグメント利益24百万円）となりました。

（機械・工具）

当セグメントは、株式会社ニッコーによる機械・工具等の仕入販売に関する事業であります。

当セグメントにつきましては、機械・工具の新規顧客開拓に向け、販売促進活動に注力してまいりました。この結果、機械の大口物件の販売等により、売上高は883百万円で前年同四半期比299百万円、51.1%の増収となりました。セグメント利益は41百万円で、前年同四半期比7百万円、21.9%の増益となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第2四半期連結会計期間末における流動資産は、前連結会計年度末と比較して1,794百万円減少の23,240百万円となりました。これは主に、現金及び預金が486百万円、前連結会計年度末にかけて販売を行った製品の代金回収が進んだことにより、受取手形及び売掛金が1,319百万円それぞれ減少したこと等によるものであります。

当第2四半期連結会計期間末における固定資産は、前連結会計年度末と比較して1,047百万円増加の14,048百万円となりました。これは主に、横浜市に建設中の研究開発棟の工事進行にともない有形資産合計が264百万円、余裕資金の運用の増加により投資有価証券が771百万円それぞれ増加したこと等によるものであります。

この結果、当第2四半期連結会計期間末における総資産は37,289百万円となり、前連結会計年度末と比較して747百万円減少いたしました。

(負債)

当第2四半期連結会計期間末における流動負債は、前連結会計年度末と比較して972百万円減少の7,454百万円となりました。これは主に、検査計測装置の大口物件の納入により前受金が491百万円増加した一方、支払手形及び買掛金と電子記録債務の合計額が1,093百万円、未払法人税等が201百万円それぞれ減少したこと等によるものであります。

この結果、当第2四半期連結会計期間末における負債合計は8,603百万円となり、前連結会計年度末と比較して979百万円減少いたしました。

(純資産)

当第2四半期連結会計期間末における純資産は、前連結会計年度末と比較して232百万円増加の28,685百万円となりました。これは主に、親会社による配当金の支払いにより利益剰余金が212百万円減少した一方、親会社株主に帰属する四半期純利益の計上により389百万円、株式相場等の改善によりその他有価証券評価差額金が72百万円それぞれ増加したこと等によるものであります。

この結果、自己資本比率は前連結会計年度末の74.8%から76.9%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2019年3月期通期の業績につきましては、現時点で、2018年5月8日に公表いたしました業績予想と変更はありません。

なお、業績予想につきましては、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき、当社で判断したものであり、実際の業績は、今後発生する様々な要因によって予想値と異なる可能性があります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位:千円)

	前連結会計年度 (2018年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2018年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	10,776,402	10,289,656
受取手形及び売掛金	8,361,910	7,042,329
有価証券	100,000	30,429
商品及び製品	775,131	700,318
仕掛品	3,731,113	3,828,206
原材料及び貯蔵品	856,991	1,145,882
その他	434,128	204,076
貸倒引当金	△473	△75
流動資産合計	25,035,204	23,240,824
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	2,850,712	2,893,446
機械装置及び運搬具(純額)	821,450	1,050,171
土地	4,250,044	4,250,044
その他(純額)	1,081,333	1,074,516
有形固定資産合計	9,003,540	9,268,178
無形固定資産		
のれん	124,053	176,253
その他	217,147	202,159
無形固定資産合計	341,200	378,413
投資その他の資産		
投資有価証券	2,617,596	3,389,447
その他	1,044,913	1,018,408
貸倒引当金	△6,048	△6,048
投資その他の資産合計	3,656,461	4,401,807
固定資産合計	13,001,202	14,048,399
資産合計	38,036,406	37,289,224

（単位：千円）

	前連結会計年度 (2018年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2018年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,986,512	1,576,925
電子記録債務	2,759,614	2,075,896
未払法人税等	369,738	168,465
前受金	1,271,062	1,762,266
賞与引当金	452,237	389,806
その他	1,587,947	1,481,495
流動負債合計	8,427,112	7,454,856
固定負債		
長期借入金	246,560	206,520
退職給付に係る負債	522,922	540,698
その他	386,756	401,721
固定負債合計	1,156,239	1,148,940
負債合計	9,583,351	8,603,796
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,015,900	2,015,900
資本剰余金	2,355,417	2,355,417
利益剰余金	23,875,275	24,051,830
自己株式	△272,477	△272,477
株主資本合計	27,974,115	28,150,670
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	423,584	495,637
為替換算調整勘定	61,773	43,350
退職給付に係る調整累計額	△6,417	△4,230
その他の包括利益累計額合計	478,939	534,756
純資産合計	28,453,055	28,685,427
負債純資産合計	38,036,406	37,289,224

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第2四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2017年4月1日 至 2017年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)
売上高	9,364,692	10,967,122
売上原価	7,279,410	8,548,457
売上総利益	2,085,282	2,418,664
販売費及び一般管理費		
給料及び手当	386,277	400,739
賞与引当金繰入額	92,646	109,953
退職給付費用	24,736	20,228
貸倒引当金繰入額	14	△398
研究開発費	369,182	387,364
その他	911,257	1,141,030
販売費及び一般管理費合計	1,784,114	2,058,918
営業利益	301,167	359,746
営業外収益		
受取利息	6,904	8,689
受取配当金	16,737	18,855
為替差益	7,736	33,549
その他	26,060	40,248
営業外収益合計	57,439	101,343
営業外費用		
支払利息	993	1,595
固定資産除売却損	4,821	9,378
その他	1,477	4,159
営業外費用合計	7,291	15,134
経常利益	351,315	445,955
特別利益		
投資有価証券売却益	—	86,577
特別利益合計	—	86,577
税金等調整前四半期純利益	351,315	532,532
法人税、住民税及び事業税	92,972	147,576
法人税等調整額	11,268	△4,345
法人税等合計	104,241	143,230
四半期純利益	247,073	389,301
親会社株主に帰属する四半期純利益	247,073	389,301

(四半期連結包括利益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2017年4月1日 至 2017年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)
四半期純利益	247,073	389,301
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	114,915	72,053
為替換算調整勘定	△3,278	△18,423
退職給付に係る調整額	1,756	2,187
その他の包括利益合計	113,393	55,816
四半期包括利益	360,467	445,118
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	360,467	445,118
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2017年4月1日 至 2017年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	351,315	532,532
減価償却費	335,982	424,875
のれん償却額	—	15,799
貸倒引当金の増減額(△は減少)	232	△398
賞与引当金の増減額(△は減少)	△89,546	△62,286
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	13,352	18,100
受取利息及び受取配当金	△23,642	△27,545
支払利息	993	1,595
売上債権の増減額(△は増加)	2,209,764	1,312,810
たな卸資産の増減額(△は増加)	△813,135	△143,132
仕入債務の増減額(△は減少)	472,952	△1,088,357
前受金の増減額(△は減少)	△505,821	492,530
その他	△412,610	42,221
小計	1,539,834	1,518,745
利息及び配当金の受取額	23,443	26,273
利息の支払額	△967	△1,587
法人税等の支払額	△221,114	△339,863
法人税等の還付額	15,779	—
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,356,975	1,203,566
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△362,000	△116,005
定期預金の払戻による収入	168,000	185,040
有価証券の売却及び償還による収入	—	100,000
有形固定資産の取得による支出	△290,658	△600,488
有形固定資産の売却による収入	—	8,531
事業譲受による支出	—	△253,233
投資有価証券の取得による支出	△100,573	△700,585
投資有価証券の売却及び償還による収入	—	86,577
その他	△28,323	△26,190
投資活動によるキャッシュ・フロー	△613,555	△1,316,354
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入金の返済による支出	△42,502	△40,040
リース債務の返済による支出	△44,919	△48,044
配当金の支払額	△212,746	△212,746
財務活動によるキャッシュ・フロー	△300,168	△300,830
現金及び現金同等物に係る換算差額	2,965	△3,832
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	446,216	△417,450
現金及び現金同等物の期首残高	11,009,914	10,452,102
現金及び現金同等物の四半期末残高	11,456,131	10,034,651

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間（自 2017年4月1日 至 2017年9月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント					合計
	住生活関連 機器	検査計測 機器	産業機器	エクステ リア	機械・工具	
売上高						
外部顧客への売上高	3,826,984	3,226,489	1,181,320	545,180	584,717	9,364,692
セグメント間の内部売上高又は振替高	26,992	54,594	14,763	7,762	332,659	436,773
計	3,853,977	3,281,083	1,196,083	552,943	917,377	9,801,465
セグメント利益又は損失(△)	△45,935	126,680	175,882	24,677	34,442	315,747

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容
(差異調整に関する事項)

(単位：千円)

利益又は損失	金額
報告セグメント計	315,747
セグメント間取引消去	△14,580
四半期連結損益計算書の営業利益	301,167

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

Ⅱ 当第2四半期連結累計期間(自2018年4月1日至2018年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント					合計
	住生活関連 機器	検査計測 機器	産業機器	エクステ リア	機械・工具	
売上高						
外部顧客への売上高	4,145,657	4,313,815	1,197,012	426,878	883,758	10,967,122
セグメント間の内部売上高又は振替高	32,678	2,007	12,846	7,264	202,144	256,941
計	4,178,336	4,315,823	1,209,858	434,142	1,085,902	11,224,063
セグメント利益又は損失(△)	△91,885	291,151	119,151	△16,501	41,982	343,897

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益又は損失	金額
報告セグメント計	343,897
セグメント間取引消去	15,849
四半期連結損益計算書の営業利益	359,746

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(のれんの金額の重要な変動)

「検査計測機器」セグメントにおいて、事業譲受によるのれんを計上しております。

なお、当該事象によるのれんの増加額は、当第2四半期連結累計期間においては68,000千円であります。